

(別紙)

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 社会福祉法人ともいき福祉会、三里保育園の保育課程の冒頭に明示されている。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 理念、基本方針は保育課程に明示されている。毎年年度初めに全職員で確認した上にネームプレートの裏側に入れいつでも振り返っている。利用者には入園時に保育課程を基に園長から説明している。また送迎用玄関に保護者の目に付く所に掲示している。		
改善できる点/改善方法：		

Ⅰ-2 事業計画の策定

Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 民営化されてから、5年計画を立案し実行・評価・改善のPDCAサイクルの手法を用いて策定している。計画を踏まえた事業計画が策定されている。計画は理念、保育目標、人材育成、施設のハード面の改修等将来を見据えた計画にしている。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 理念・保育方針目標を基に保育に必要な諸管理、保育について全職員が参画の下、前年度の計画から実行、評価、反省を全職員で行い作成している。策定時に職員が参画する事と常に閲覧しやすい場所での保管により周知されている。保護者には年度当初に園長が説明をしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 年度初めの職員会議で各職員の職務分担、園長の役割と責任を話している。防災関係、福祉全般、労働関係など法令についても年度初めに確認を取っている。年度途中の場合は、その都度の通知など、必要があれば職員や保護者にも知らせている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育方針に『笑顔で登園、笑顔でさようなら』と明記し、子どもが笑顔で園生活を送れるよう、常に保育士も笑顔で保育に取り組むよう努めている。保育の自己評価、エピソード記録（保育士の気づき）の一つひとつに目を通しコメントを入れ、職員一人ひとりの意欲に繋がるよう質の向上を目差している。質の向上には研修、研究が大切、モチベーションをあげるための発表も必要と理事長の意欲も強い。職員からの意見を得るため提案ノートを作成、職員はそれぞれの立場での気づきや意見をノートに書き留めて業務の効率化と改善に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ・B・C
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>全国保育協議会、県保育研究会、民間保育連盟の園長研修や情報誌、通達などで事業を取り巻く環境を把握している。地域公民館の推進会議に参加し地域内の情報を得ている。幹部会議を行い、経営・運営について意見を交わしている。職員会議において全職員に周知し改善等に取り組んでいる。経営経理には会計士や社会労務士に確認してもらい経営の透明性に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
	II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員は余裕を持った人員で今後も保育が安定して行われるよう配置している。若い職員からベテランの職員と年齢に偏りがないように配慮している。人事考課については園独自の記述方法で個々に目標を定め自己評価を行い分析している。個人面談は自己評価をもとに職員へのアドバイスをしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C
	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は常に職員に声をかけ意向や意見の把握に努めている。職員も相談しやすいと感じている。また話す時間が取れないときのため、気づきノートを作り様々な気づきを書き留め園長も読んでいる。介護休暇、育児休暇など整備され職員にとって気持ちよく働ける職場であると出勤をしているが、病気休暇が未整備のため有給が効率的に取得できない職員が一部ある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>安心して有給休暇を取り、リフレッシュし健康で働ける職場であるよう更に努められたい。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・B・C
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・B・C
	II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>外部研修、園内研修とも、年間の研修計画を策定している。外部研修を受けたときは園内の職員会議で必ず報告し、復命書も回覧している。保育士の力量、位置づけに応じた研修計画を行っている。理事長は保育力を高めるための研修に重きをおき、モチベーションを維持する方法のひとつとして、発表の場を作ることを期待している。</p>		

改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 近隣大学からの実習生を受け入れ、「実習生の受け入れ規定」に基づき指導をしている。実習生には担当保育士のみならず、園長、主任保育士も指導を行い、次世代の人材育成に取り組んでいる。		
改善できる点/改善方法：		

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 緊急時の対応について、年度当初に各種マニュアルや自主防災組織編制を全職員に配布し担当者についても確認している。緊急メールの配信、警報発令時の帰宅判断など、その都度の安全確保に努めている。ヒヤリハットからも事故の起きやすい状況を確認し、安全確保の取り組みを行っている。感染症や健康生活については看護師が発生予防の話や手洗いの指導を行い、保護者にも保健便りを出している。子どもの急な体調不良に看護師が対応し園医との連携を行っている。		
改善できる点/改善方法：		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 地域との連携を基本方針に明示している。地域では、地区公民館の運営委員の一員として参加し、そこを窓口にして地区の文化祭、夏祭りに園児も参加している。また、公民館の子育てサークルに園から担当保育士が出向いて、遊びの協力をしている。地域の親子に園庭開放や、一時預かり保育などで保育園を地域の子育ての拠点として利用してもらっている。中高生の学生ボランティアな		

どの受け入れをし、職員もボランティア受け入れの方針や意義を職員会議で話し合い共有している。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 日常の園生活を守るために、地区の自治会、公民館、小中学校、高校、長寿会など諸機関から協力を得て地域の教育力として保育活動に活かしている。特に小学校とは道を挟んで隣り合い、子どもの授業交流や職員の研修交流など予定している。また、ことばの教室、発達センターとも連携をとり、子どもの発達について常に相談できる体制をとっている。	
改善できる点/改善方法：	

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 民生委員、児童委員との連携の基、地域のニーズを聞き、把握している。公民館での子育てサークルに出向き、遊びの提供などの協力や、保育園では未就児への園庭開放を行い、訪れた親子と言葉を交わし子育ての悩みがあれば相談を受けている。重要な案件の場合は相談室に誘い、まわりを気にせず相談できるような環境づくりをしている。		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 利用者尊重の基本方針と、保育目標を明示し、子どもの最善の利益を考慮した指導計画を策定し、園内研修、職員会議で話し合い共通認識を持って保育を実践している。プライバシー保護については規定が整備され年度初めに全職員で確認し周知徹底を図っている。特に個人情報の扱いは慎重にしている。		

改善できる点/改善方法：	
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ－１－（２）－①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。 ①・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 個別懇談や、送迎時の声かけなどで保護者の意向を汲み取るようにしている。また、行事毎にアンケートを取り、内容によって職員会議で検討し保育や行事に反映している。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 ①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 ①・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 送迎時、保護者に笑顔で声かけし、常にコミュニケーションを取り信頼関係を築き、意見・相談をしやすい環境を作っている。重要な用件の場合は担任から園長へ伝えられ対応している。全体のことは園便りで知らせ、行事など保護者が来園時に話し対応している。苦情解決のポスターを張り出し担当者や体制が分かるようにしている。	
改善できる点/改善方法：	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 ①・Ｂ・Ｃ	①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。 ①・Ｂ・Ｃ	①・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 保育サービスの質について、自己評価・第三者評価を実施している。自己評価は目標設定、実施、評価と振り返りを記述することで課題を見つけ出し、園長がコメントを書き込んだり職員会議で話し合い、改善に取り組み保育に反映している。		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	①・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 保育課程に基づき、年案・月案・週案を立て、職員会議、週の打ち合わせの会議で周知し保育を行っている。週案の検討時に保育の評価見直しを行い次へつないでいる。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－（３）－①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	①・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 指導計画に沿った保育の記録、保育日誌・児童票や個別の記録など子ども一人ひとりの発達や保育状況を丁寧に記録し、園長はそのすべてを確認している。また職員会議や打ち合わせ時に子どもの状況を議題に出し、育ちの共通理解をしている。記録等については、法人ともいき福祉会の管理規定に基づき管理している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	①・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	①・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 入園に向けてのパンフレット、岐阜市の「入園のあんない」を配布し、園庭開放時に保護者とのかわりの中で保育園を紹介したり、子育て相談を行っている。また入園時に詳細について文書と口頭で詳しく分かりやすく説明している。ホームページでも紹介している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ－３－（２）－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	①・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点： 他の保育園への変更は児童票を送付し、子どもの保育暦や園生活の継続性が図られるようにしている。他園からの転園には情報を収集し子どもや保護者の不安解消と保育の継続性に努めている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 毎年、家庭状況記録票、生育記録を家庭に配布し生育状況の確認をしている。また個別にも面談をして詳細の確認もしている。それ以外でも変化があった場合は速やかに変更の手続きを行いアセスメントに反映している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 発達過程に基づき個々の発達を大切にシクラスごとに指導計画を作成している。毎月保育を振り返り評価と反省を行い、次の月への見直しと実施につなげている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

(別紙)

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本
Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	①・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 理念・保育目標・保育方針に基づき子どもの心身の発達過程を踏まえ各年齢ごとの養護と教育のねらい・保育の内容に重点をおいた保育課程を作成している。子どもの発達援助・子育て支援・地域の住民や関係機関との連携が組み込まれ、子どもの最善の利益を求めている。保育課程は職員参画の下作成し、今後は保育の積み重ねを踏まえ更に見直しと改善を続けていく予定である。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	①・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 保育室は改修され、木の素材を生かし温かみがあり、静かで落ち着いた環境に整備されている。コーナーを囲む柵も柔らかなあたりで安全性に配慮がある。清潔な床に素足で生活し、保育士も座って子どもを抱っこしたり穏やかに声掛けし子どもの目線で保育に心掛けている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	①・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 遊びと休養のコーナーを敷物で分けるなど、子ども一人ひとりの遊びや関わり、生活への要求に応えられるよう配慮している。絵本、おもちゃなど子どもが自分で選び遊べるよう配慮し保育士は子ども同士の仲立ちをして遊びが展開できるよう援助している。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	①・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 養護と教育の一体的展開がなされ、年齢に応じた生活習慣が獲得でき子どもが主体的に遊びに取り組めるよう遊びの環境を整備している。保育士の適切な言葉掛けにより遊びの展開や基本的な生活習慣への取り組みに意欲がみられる。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	①・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 小学校と隣接し、小学生と一緒に廃材利用の作品作りの体験を行うなど普段から授業交流をしている。小学校長が来園し保護者と保育士に「小学校生活について」の講演や就学を見通した子育てについての指導を受けている。就学前に子どもの発達の継続性を図れるように学校と懇談を行	

い連携している。今後、教員と保育士が合同で研修する場を設け更に連携の強化を図る予定である。
改善できる点/改善方法：

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 日差しがはいる保育室は明るく清潔に保たれている。遊びと食事、午睡と同一の保育室だが、その都度保育士の手によって室内環境が整えられ、子どもの生活の場に変化している。保育士の適切な接し方により、子ども達との信頼関係が築かれ落ち着いて生活や遊びに取り組んでいる。保育室には様々な素材や遊びの環境が準備され、子ども達の興味や活動へと繋がっている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 毎日の園生活の中に基本的な生活習慣を身に付けられるよう環境を整備している。うがい・手洗い・食事後の歯磨き・手洗い後のタオルふきなど保育士がその都度、言葉をかけ励まし自然に身に付くよう保育をしている。タオルかけは、子どもの身長に合わせてセットするなど細かい配慮がある。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保育室のコーナーにマジック・クレヨン・空き箱など様々な素材が準備され、子どもの創作意欲を高めている。季節の遊びも用意され子ども達は、自主的にまたは保育士の働きかけによって遊びに取り組んでいる。保育士は、子ども同士の関わりを見守り、更に遊びが活発に広がるよう仲立ちをしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園芸が得意な職員の手ほどきで野菜を栽培、収穫を体験したり、園庭の芝生の種を子どもと一緒に蒔いて園環境を整えるなど園内で出来る自然との関わりを大切に自然の変化を感じ親しんでいる。今後、園舎の屋上で植物の水耕栽培を行い全園児が栽培、収穫など自然に関われるよう計画している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	

IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 子どもの発達や年齢に合わせた保育士の関わりを大切に、わらべ歌、絵本、紙芝居、ことば遊びを取り入れ豊かな表現活動ができるよう取り組んでいる。子ども達はごっこ遊び、劇遊びをしながら繰り返しことばのやり取りを楽しんでいる。廃材、折り紙、クレヨン等の用具を常に使えるよう配置されている。それらを使い子ども同士で郵便やさんごっこで文字に興味を持ち始めている。保育士からの規制はなく表現して楽しんでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果 ㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 自己の目標を立て、実践・評価・課題の改善を記述式で行い、日々の保育を振り返り実践に反映している。園内研修で公開保育を行い意見交換し保育の改善に繋いでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果 ㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 子ども一人ひとりの状態に応じ配慮のある取り組みをしている。温かい見守りと適切な言葉掛け、笑顔の保育に心がけ、子ども達は安心して元気に自己の力を発揮して遊んでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 担当保育士を配置し、障がいのある子どもが同年齢の子ども達と安心して生活を共にできる環境の整備をしている。専門機関、保護者との連携を密にし職員会議で共通理解しながら障がい児を含めた保育に当たっている。また個別に面談したり、専門機関との連携もとっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉠・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 長時間、延長保育は疲れも出やすいので低年齢児は抱っこや絵本を見たりしてゆったりできる環境と時間になるよう配慮している。長時間保育児のチェック表で通常的时间帯から、保護者まで繋いでいけるように配慮している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 ①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 入園時のアセスメントで既往歴、予防接種などの情報は把握している。その後の変化や毎日の健康状態の把握は、担任が送迎時に保護者との直接の会話で連絡をとり情報を交換している。看護師が健康に関する保健便りを作成、保護者への配布をしている。感染症の流行時には看護師の指導やマニュアルに沿って対応し予防に努めている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園庭で野菜の栽培をし、おやつのカッキングを行うなど、育てて食べる調理をして食べることで季節感を感じたり食への興味関心を導いている。ときにはバイキングや異年齢で「なかよしランチ」を行っている。子ども達は「たのしい」「おいしいよ」と楽しみにしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 行事食を取り入れ、おやつは手作りにしている。調理員は「なかよしランチ」に参加し一緒に食事をしながら、子どもの話を聞いたり食事の様子を見て調理に反映している。子ども達と食べることで喫食状況の把握もしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 健康診断前の事前調査を行い、園医に伝えている。健康診断の結果は文書で保護者に伝えている。異状があればかかりつけ医、歯科医に受診をしてもらい結果は園にも知らされ、児童票に記録し次年度に申し送りしている。受診結果は園長、担任が掌握し全職員に周知し運動や衛生面での制限があれば職員みんなで見守りの配慮をしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 ①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 食物アレルギーについては主治医の指示書のもと、保護者、担任、調理員が毎月懇談を行い、献立のチェックと調理法について検討している。注意を要する子どもはトレーの色を変え、食前に調理員、園長、担任が再度確認して安全に配慮している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 担当者は衛生研修を受け園内研修で全職員に周知を図っている。各種、衛生管理マニュアルは整備され全職員に配布し定期的に見直しをしている。毎日調理場、トイレを含む水周り掃除等の衛生自主点検表でチェックし確認している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 給食便り、献立表を家庭に配布し、他におすすめレシピの掲示や今日の給食を展示し、保護者に食への関心を持つように努めている。おすすめレシピは「家で作りたい」と持ち帰る保護者もある。「なかよしランチ」の様子など工夫がある。また給食参観を行い食事の様子をみてもらったり、給食の試食を行い子どもの食事に関心を持ってもらうよう働きかけている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保護者が安心して子どもを預けられる関係作りに心掛けている。送迎時の会話で子どもの様子を伝え合っている。「笑顔でおはよう、笑顔でさようなら」を信条に常に笑顔を絶やさないように心がけコミュニケーションを取っている。時間の都合で顔をあわせることが少ない保護者には連絡帳を利用して日々の細々したことを綴り成長を伝え合っている。話し合ったこと、連絡帳に記入した場合の必要なことは個別記録表に記録している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	①・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保護者の送迎の際に園生活の様子を伝えたり、発達や育児の悩み、不安の相談を受けている。重要な問題があれば相談室に招き入れまわりを気にせず安心して話ができるようにしている。保育参観や運動会など年間の行事に参加してもらい子どもの育ちを実感できるようにしている。園便り、クラス便りで保育の内容や子どもの園生活に理解を得ている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	①・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 虐待の研修を受け研修内容の報告やマニュアルを全職員で読み合わせ、虐待や不適切な養育について共通理解をしている。気になる養育の件があった場合、さりげない保護者への確認をとり、報告ノートに記録するなど早期発見、予防に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 登園時間は職員が玄関に立ち子どもの安全を見守っている。子どもが園庭で遊ぶ時も常に周囲には注意をはらっている。マニュアルは整備し年度当初に訓練の年間計画を全職員で確認している。不審者侵入に対する訓練の合言葉をきめて他の避難訓練との区別をしている。散歩時もコースを確認し避難場所を決定してから出かけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 年度当初に年間行事を知らせ、早くから日程の予定ができるようにしている。参観に参加できなかった保護者にはそれ以外の日でも子どもの様子を参観できるよう体制を整えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会活動に保育室を提供し協力している。活動には職員も参加し会の運営の援助や、会からの要望を受けている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 他の保育園の年長児交流を実施し相互に刺激を受けあっている。隣接の小学校と授業交流や運動会参加で小学校を身近に感じている。また地区中学校の運動会に参加、県立高等学校の文化祭、授業交流など様々な年齢の子ども達との交流の場がある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	